

ロータリー100周年

2005年2月10日 第756号



# 金澤北ロータリークラブ

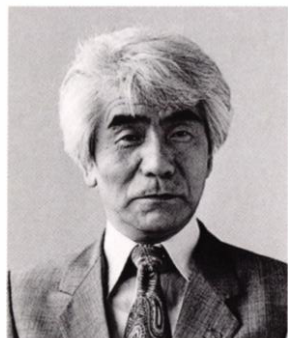


ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH



## 中国景德鎮紀行 vol.2

長谷川 壘人



窯も良いが建物もヨイ。粗末な造りだが古代の建物らしく何とも言えず良かった。日本の木造建築より更に大きかった。山水画そっくりの山麓風景に悠々たる時を感じて

いた。

夕暮れがせまる頃、後ろ髪を引かれる想いで帰路についた。車中から見ると稲の脱穀をしている、足廻しのものでやり方が昔の日本そっくりだった。

乾燥は道路上、半分はバス、タクシー、人間、水牛が通る。ノンビリと雄大なそのままの風景に懐しさが込み上げて来た。中国「元」の時代に青花の技法が出来た。日本では染つけと称している。その出発点は鉄絵のある磁州窯だとの説もあるが今ははっきりしない。

コバルトと言う鉱物を使って絵や模様を描く。元時代の作品はまことに力強く凄い。だが明時代の中期を過ぎると技法は完璧になったがどんどん生命の火が失われていった、不思議。コバルトは生素地に描く、昔も今も（然し日本では大体素焼上に行く）。生だと顔料が乗り易いという利便性がある。その上から釉を掛けるのだが、昔は口で釉を吹いた、現在はコンプレッサーと言う道具を使う。

中国では磁石も上釉も近くの山麓から採れる。水ヒして種々混合の後使う、大変白く美しいものだ。1300度位で焼かれる現在の窯の燃料は電気とかガスに変っている（日本も勿論例外ではない）。

窯から出た美しい磁肌に絵つけをしている部屋に案内してもらい、その仕事振りを見た。古参の

名人について若い娘が描いている。よく観ると赤い点々のある所をそのまま準っていた。筆意も無ければ生氣もないまるで人間転写である。なる程と、合点がついた。「元・明」時代初期の青花は生命力に溢れ、「元・明」時代も後期になるとその力が薄れる原因がこんな所にも有ったのか、と強く感じた。自己反省。

しかし若い娘達は楽しそうであり真剣そのもので好感もてた。

古いレンガ造りの街、現在どんどん取り壊され、その後方に新しくアパートが造られているが、放置されたレンガの山はいつ処理されるのかまったく意に介するところ無く生活している風である。狭い狭い道を行きかう人々の様子を小タクシーの窓から見ていると、まるで日本のお祭の夕暮れ刻の様子である。

一日中、こうかと想うと愉快であり悠久4,000年の歴史の中に生活して来た中国の人々の逞しい生命力を強く感じた想いである。

あの狭い露地街にもう一度行きあの空気を吸ってみたいものだ、と又ぞろ夢を描いている今日この頃である。



## 中村三次先生を偲んで

小間井 宏尚



先生の突然の悲報を聞き本当にびっくりしました。

正月の合同例会で隣同士に座り、「先生、少し太ったんでない。私も最近数値高めなんだけど、どうですか？」血糖値の高

い者同士の会話でした。

中村先生は昭和54年2月の入会、そして私はその年の9月に縁があって入会させていただきました。私は当時まだ39歳のハナタレ小僧でしたが、中村先生は私の入会半年ほど前の先輩であり、又人生では約10歳年上の大先輩、仕事では検事を経て弁護士になられ調停委員、県選管委員等沢山の公職をおやりになっていた大々先輩でした。

ロータリーでは皆様もご経験された通り、最初の2年間は総ての行事に出席義務がかかり地区大会等に出席の折など、その都度色々教えていただきました。そして商売の法律相談ばかりでなく、商いの悩みも聞いていただき、当時血気盛んだった私に「商いは総て法律で解決しないよ」とよく諭されたものです。又、奥様の曜子様にはうちの女房も色々教えていただき、我々夫婦共々大変お世話になりました。

思い起こすに、中村先生は1991年から第19代目の会長にご就任されました。その折、毎週の挨拶に几帳面に原稿を書き、ワープロに打たれてお持ちになっておりました。そして真面目なお顔をなされ、ふと自分の本音を織り交ぜて、壇上で読み上げながらお話になる様子が、会場をなごませ笑いを誘っていました。私は毎回なんとお話が上手いのだろうと、感心して聞いておりました。

ある時ふと気が付くと、先生が激痩せしているではありませんか。びっくりして尋ねました所、「いやいや」と笑っているだけ、後から解ったのですがこの時、血糖値が高くなり奥様の一生懸命なカロリーや運動等のコントロールにより体重も下がったと聞いております。

その後私もご多分にもれず数値が高くなり、カロリーコントロールの難しさと女房の協力の大切さをつくづく悟りました。

先生とご一緒に市川さん塩村さん達とよくゴルフをしましたね。私の下手なゴルフに付き合っただ下さってほんとうに有難うございました。市川さんはお辞めになり、塩村さんは「わやく」を言いながらさっさと先に旅立たれました。

そして今、先生が急に奥様の大きな呼び声にも振り向かず天国に召されるとは思いも付きませんでした。もっともっと教えていただきたいことがいっぱいあったのに……どうぞ先生安らかにお休みください。もう脚の痺れも気にする事無く、自由にゴルフも出来、動き回れると思います。安らかに、安らかにお休み下さい。

合掌



## 第1524回例会

1月27日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

### 1. 講話

石川県議会議員 木本利夫氏  
「百年の計」

### 2. 出欠

出席 41名 欠席 29名 出席率 58.57%  
ビジター 4名

### 3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 河野良三 佐野由於  
金沢東RC 諸江賢二  
金沢西RC 澤田幸壮

### 4. 幹事報告

・中村三次会員が、1月25日に急逝されました。ご冥福を祈ります。

### ニコニコボックス

上田君 講師に木本先生をお迎えして。  
高島君 講師に木本君(同級生)を迎えて。  
濱井君 木本利夫先生、本日の講話宜しくお願ひします。  
厳しい寒さが続く中、会員の皆様には、くれぐれもお風邪など召されませぬように。  
的場君 木本県会議員の教育への直言に期待します。  
坂口君 誕生祝頂き、ありがとうございます。  
小泉君 誕生日のプレゼント、ありがとうございます。  
合計 19,000円(累計 1,031,000円)

### 6. お誕生日祝い(敬称略)

7日 竹中健次  
10日 中田秀雄  
16日 上野雅司  
23日 前田 暁  
24日 松平敦實

### 7. 結婚記念日祝い(敬称略)

4日 中田龍一  
22日 田中廣明  
23日 松平敦實  
25日 横井清治  
26日 中村芳明

### ニコニコボックス

上田君 本日の講師に、養館長をお迎えして。  
濱井君 21世紀美術館、館長の養豊様の講話を楽しみにしています。本日、誕生日・結婚記念日祝いを受けられました皆様、おめでとうございます。  
田中君 養館長様ようこそ！日ごろは大変お世話になっております。本日の講話、心待ちにしておりました。  
木村(丹)君 なんとか、なんとなく皆様の好意(?)で21年持ちました。そろそろ鬼は外。  
越田君 21カ年、皆出席の顕彰ありがとうございます。  
磯野(進)君 1月の誕生祝、ありがとうございます。  
勝田君 次男が去る1月23日に書道部門で、岡文化賞を頂戴いたしましたので。  
木村(功)君 お久しぶりです。今年も宜しくお願いします。  
合計 22,000円(累計 1,053,000円)

## 第1525回例会

2月3日(木) 雪 12:30~13:30 松魚亭

### 1. 講話

金沢21世紀美術館 館長 養 豊氏  
「美術館が街を作る」

### 2. 出欠

出席 40名 欠席 30名 出席率 57.13%  
ビジター 2名

### 3. 来訪者(敬称略)

金沢南RC 平野 学 三野 裕

### 4. 幹事報告

・米山奨学生オムさん、来会。

### 5. 皆出席顕彰(敬称略)

21カ年 木村丹二、安宅雅夫、越田和好  
3カ年 横井清治

## 1月クラブ日誌

6日(木) 金沢8RC 新年合同例会

ホテル日航金沢にて

13日(木) 1月定例理事会

松魚亭にて



会 長: 上田 忠信 S A A : 汐井 俊彦  
会長エレクト: 高島 菊丸 会 計: 木村 功一  
副 会 長: 米沢 真二 広報委員長: 二塚 長生  
幹 事: 濱井 弘利 会 員 数: 70名  
副 幹 事: 勝田 浩之 クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30  
例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30  
TEL<076>252-2271 FAX252-2273  
事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内  
TEL<076>222-2525 FAX224-2882